

嗜好調査” 実施しました



調査日：令和5年3月15日～3月17日

目的：利用者様の嗜好やご意見を知り、今後の献立に反映させる。

方法：管理栄養士による聞き取り調査

対象者：特養入所者のうち、食事提供者 69 名（入院 2 名、流動食 9 名、IVH1 名除く）

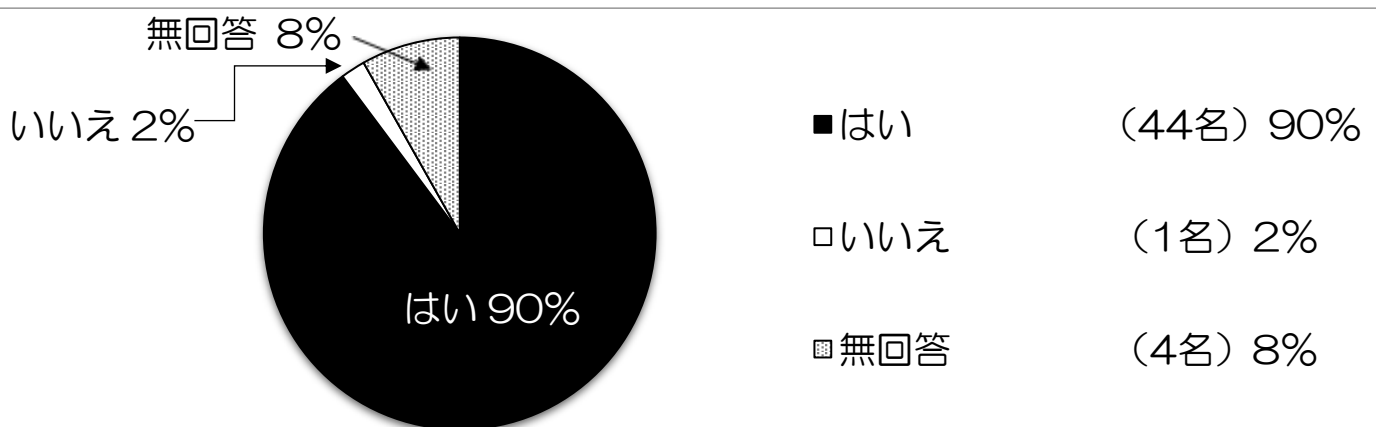
実施者：上記対象者のうち、49 名（食事提供者の 71%）

質問内容

- ①食事は楽しみですか？（はい・いいえ）
- ②好きな料理・食べたい料理は何ですか？
- ③食事について意見を聞かせてください。（例：味つけ、量、盛り付け、内容など…）



① 若葉苑の食事は楽しみにしていただけていますか？

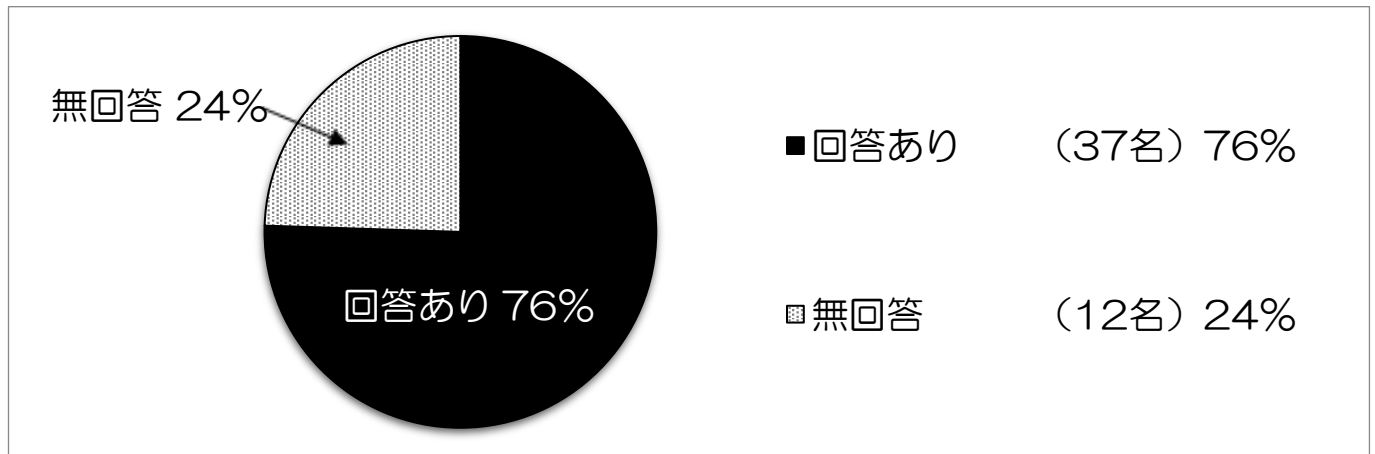


・「はい」と回答された方は、44名で全体の90%。

「いいえ」と回答した方は、1名で全体の2%。

無回答は4名で全体の8%。

② 好きな料理・食べたい料理を教えてください。



・何らかの回答した方は、37名で全体の76%。無回答は12名で全体の24%。

※（ ）内は同意見者の人数です。

- ・団子汁（2）
- ・鶏のからあげ（2）
- ・納豆（2）
- ・中華料理（2）
- ・カレーライス
- ・いなり寿司
- ・肉
- ・おはぎ
- ・焼き鳥
- ・寿司・酢飯
- ・ホルモン焼き
- ・ステーキ肉
- ・つぶあんぱん
- ・ラーメン、・醤油ラーメン
- ・かきあげ
- ・混ぜご飯
- ・うどん
- ・きなこご飯
- ・医大の天丼
- ・アジの開き
- ・エビ天
- ・パン
- ・にごり酒
- ・甘いお菓子（饅頭など）
- ・あずき（特にこしあん）
- ・何でも食べます（13）
- ・わからない（2）
- ・特にない（2）

③ 食事についての感想（味付けや量など）



・何らかの回答した方は、44名で全体の90%。無回答は5名で全体の10%。

※（ ）内は同意見者の人数です。

- ・おいしいです。(18)
- ・困っていることはないです。(7)
- ・なんでも残さず全部食べます。(4)
- ・食べるのが一番楽しみ。(2)
- ・ありがとう。楽しみ。
- ・何が出てくるか楽しみ。
- ・おかずの味は、他の所よりおいしい。
特に味噌汁がおいしい。
- ・ここの食事が好き。他にも行ったことがあるけど、ここは違う、おいしい。ここにずっとおらしてもらいたい。
- ・ここの食事がいいわ。おいしい。
- ・楽しく、明るく、食べること。
- ・若いしが作ったのを食べる。おいしい。
- ・人が作ってくれるから嬉しい。
- ・よく食べています。
- ・甘いも辛いもなく、ちょうどいい味。
- ・特にないです。
- ・おいしくなった。
- ・肉が嫌い。鶏肉なら食べられる。
- ・お味もよくて、充分です。
- ・今の食事でよいです。
- ・出されたものをおいしく食べています。
- ・味も量もちょうどいい。少し多いぐらい。
- ・硬めのご飯でよいです。
- ・『しっかり食べていますか?』の問いに、
頷かれていた。
- ・主食が少ない。(3)
- ・卵の生臭いのが苦手。
- ・甘いものが多い。塩辛くない。
- ・魚のパサつき、塩気が少ない時は残してしまう。



【結果・考察】



- ① の質問について、「いいえ」と回答された方は 1 名いました。理由を聞くと「小さく握っていて、家のご飯のようではないから」とのとのことでした。
- ② の質問は、今回一番回答率がよく、色々な意見を聞くことができました。「団子汁、からあげ、納豆、中華料理」といった料理が人気でした。
- ③ の質問については、約 9 割の方に意見を頂くことができました。主食量については、カロリー調整のために制限している方について話を聞いていくと「少ないけど、少し控えんとな」といった言葉が聞かれる場面もありました。調整できる主食量については、嗜好調査後にすぐに対応しています。

今回の嗜好調査では、食事提供者の 71%となる 49 名の方に調査を実施することができました。過去 5 年間の中では一番高い実施率となっています。49 名の内、初めて嗜好調査をした方は 19 名（全体の 39%）でした。

嗜好調査をしている中で印象に残っていることは、「食べるのが一番楽しみ」や「何の料理が出てくるか楽しみにしている」という言葉です。コロナ禍で楽しみが減少している背景もあり、毎日の食事を楽しみにされていることがよくわかりました。献立へ反映させることはもちろんですが、楽しみに待っていただけるように、入居者様の好きな料理が出る際には個別に声かけをするように心がけています。声をかけると「今日出るの？嬉しい！」と喜びの表情がみられることは、栄養士としてのやりがいにも繋がっています。

今回気づいた点として「おにぎりじゃなくてご飯がいい」や「お粥じゃなくてご飯がいい」といった本人の希望に沿って、状態を見た上ですぐに変更対応を行いました。当日又は数日中に元の食事形態に戻したということがありました。本人の希望が全てではありませんが、できるだけ希望に沿えるように、日々調整・試行・様子観察をしていくことが必要だと実感しました。

また、好きな料理・食べたい料理の質問について男性入居者の回答では、家というよりお店で食べる事が多い「焼き鳥、ホルモン焼き、ステーキ肉」といった回答がみられたことが印象的です。男性入居者は年齢が若い方も多く、入所前後で食生活が大きく違う方もいるのだと感じました。

現在の入居者様の年齢は、最高齢と最年少の方で 31 歳差があります。個人ごとに食生活・食に対する思い・食の思い出などの情報を少しずつ把握できるよう日々のコミュニケーションを大切に、若葉苑の食事に満足していただけるよう努めたいと思います。